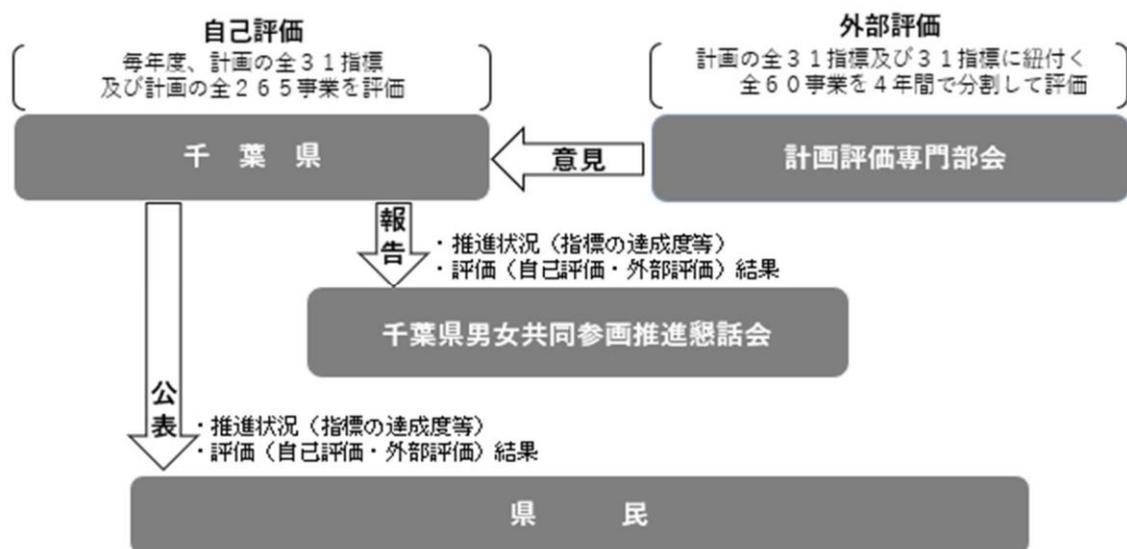


IV 第5次千葉県男女共同参画計画の評価について

「第5次千葉県男女共同参画計画」の推進に当たっては、同計画の目標に向け、設定した各指標の目標を着実に達成していくため、令和3年度第2回千葉県男女共同参画推進懇話会において了解いただいた下記の評価方法等を用い、適正な進行管理に努めています。

- 県において、計画の全31指標及び全265事業について、令和4年度～令和8年度の毎年度、自己評価を行います。
- 計画評価専門部会において、計画の全31指標及び指標に紐付く60事業について、令和4年度～令和7年度の4年間で一通り外部評価を行います。（原則、年度ごとに異なる約8指標及びその指標に紐付く事業を外部評価します。）
- 懇話会において、自己評価結果及び外部評価結果について、令和4年度～令和7年度の毎年度、報告を行います。（なお、令和8年度は、計画期間終了後の評価結果について、報告を行います。）
- 計画評価専門部会及び懇話会でいただいた意見については、各事業所管課にフィードバックし、目標達成に向けた、取組の充実を図ります。
- 計画の推進状況及び評価結果については、毎年度、県民へ公表を行います。



「第5次千葉県男女共同参画計画」における評価の概要図

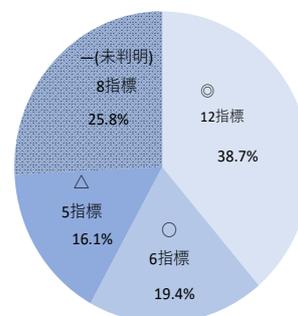
➤ **令和6年度の自己評価結果について**

○ 第5次計画における全31指標の令和7年度末目標値に対する到達状況は、下表のとおりです。

基本目標等	◎ (到達度80%以上、進展、維持)	○ (到達度が20%以上80%未満)	△ (到達度が20%未満)	— (未判明)	計
I あらゆる分野で男女がともに活躍できる環境づくり	7 (6)	2 (4)	3 (4)	2 (1)	14
II 安全・安心に暮らせる社会づくり	4 (4)	3 (2)	2 (4)	3 (2)	12
III 男女共同参画社会の実現に向けた基盤づくり	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (3)	3
推進体制	1 (0)	1 (1)	0 (1)	0 (0)	2
計	12 (11)	6 (5)	5 (7)	8 (8)	31

○ 昨年度と比較し、「基本目標 I あらゆる分野で男女がともに活躍できる環境づくり」の「家族経営協定締結数」の1指標および、「II 安全・安心に暮らせる社会づくり」の「がん検診の受診率」の1指標が、「◎」(到達度80%以上)となるなど、計画の進捗が図られています。一方、「基本目標 I あらゆる分野で男女がともに活躍できる環境づくり」の「子どもを生き育てやすいと感じる家庭の割合」など、計5指標が「△」(到達度20%未満)に留まっています。男女共同参画を推進するための取組が全庁において順調に進められているところですが、目標達成に向けて引き続き、施策等を通じて推進を図っていく必要があります。

31指標の令和7年度末目標値に対する到達状況



➤ **計画評価専門部会による令和6年度の外部評価結果について**

- 令和6年6月及び7月に2回実施した計画評価専門部会では、7指標について意見をいただきました。
- 計画評価専門部会において、各外部有識者からいただいた意見等については、各事業所管課にフィードバックを行いました。引き続き、目標達成に向けた改善等を図っていきます。

令和6年度評価に対する計画評価専門部会における主な意見

<<各指標についての主な意見>>

※ 複数の委員から同様の意見があったものについては、まとめて記載しています。

【指標No. 7】 子どもを産み育てやすいと感じる家族の割合

計画策定時値 (令和元年度)	実績値 (令和5年度末)	令和7年度末 目標値に対する到達度	目標値 (令和7年度)
79.9%	73.4%	△ (0.0%)	80.0%以上

【指標No. 8】 保育所待機児童数

計画策定時値 (令和元年度)	実績値 (令和5年度末)	令和7年度末 目標値に対する到達度	目標値 (令和7年度)
833人 (R2.4.1)	83人	◎ (90.0%)	0人

【関連事業】 事業No. 42 保育所等施設整備の助成

【関連事業】 事業No. 43 認定こども園施設整備の助成

【関連事業】 事業No. 44 放課後児童クラブへの助成

【関連事業】 事業No. 45 病児保育事業への助成

意見

<NO. 7>

- 「子どもを産み育てやすさ」を図るのであれば、育児がより大変な時期に入った後の保護者にアンケートを取るべきではないか。
- 今回、評価の基準とした子育てアンケートの対象は「保護者」となっており性別は特定されていないが、女性からも男性からも意見を聴けるような工夫が必要ではないか。
- 計画の指標とするには、「子どもを生み育てやすい」と判断する基準が曖昧であり、見直しが必要。

<NO. 8>

- 待機児童数には市町村による偏りがみられるため、発生要因を的確に把握し、必要な支援を行っていただきたい。
- 待機児童が減っていることは、子育て支援策が進んだとして、評価できる。
- 今後は保育の質の向上にさらに取り組んでいただきたい。
- 各種助成があり、施策が推進されている様子がかがえるが、その助成により具体的にどのような声が利用者から寄せられているかがわかると良い。

【指標No. 10 介護人材確保対策事業費補助対象事業数】

【関連事業】 事業No. 61 福祉・介護人材の確保と定着促進

計画策定時値 (令和元年度)	実績値 (令和5年度末)	令和7年度末 目標値に対する到達度	目標値 (令和7年度)
172	211	◎ (進展)	増加を目指します

意見

- 介護は妻、嫁、娘の役割とされることが多く、介護人材を確保することは男女共同参画の観点から必要である一方、介護従事者の賃金は低く抑えられ、主として女性の職業となり、男女の収入格差を助長する原因ともなっている現実もあることから、多面的な視点での施策の検討が必要。
- 介護職員の処遇改善を含め、引き続き介護人材の確保・定着に取り組んでいただきたい。
- 目標値は数値目標とした方が良い。
- 指標の目的や男女共同参画との関係が曖昧であり、指標の見直しが必要。

【指標No. 18】 ちばバリアフリーマップ掲載施設数

【関連事業】 事業No. 158 ちばバリアフリーマップによる県内施設のバリアフリー情報の紹介

計画策定時値 (令和元年度)	実績値 (令和5年度末)	令和7年度末 目標値に対する到達度	目標値 (令和7年度)
1,935施設	2,097施設	○ (54.9%)	2,230施設 (目標数値：年間50施設の増)

意見

- 掲載施設を増やすだけではなく、バリアフリーマップの広報啓発の方法を充実させる必要があるのではないかな。
- 閲覧傾向を併せて確認し、活用実態を把握する必要あるのではないかな。
- 情報の掲載・更新・削除にあたっては、定期的に市町村に照会をすることで最新の情報を提供できるのではないかな。
- 指標の目的や男女共同参画との関係が曖昧であり、指標の見直しが必要。

【指標No. 19】 主要駅のエレベーター等の設置による段差解消割合

【関連事業】 事業No. 159 鉄道駅バリアフリー設備の整備支援

計画策定時値 (令和元年度)	実績値 (令和5年度末)	令和7年度末 目標値に対する到達度	目標値 (令和7年度)
95.9%	99.1%	○ (78.0%)	100%

意見

- バリアフリーは、子育て世代にとっても重要であるため、駅のエレベーター設置に積極的に財政支援を行うべき。
- 必要な駅に設置できるよう、計画的に整備を進めていただきたい。
- 主要駅以外の駅にも広がるとよい。
- 指標の目的や男女共同参画との関係が曖昧であり、指標の見直しが必要。

【指標No. 24】 がん検診の受診率

【関連事業】 事業No. 175 総合的ながん対策の推進

計画策定時値 (令和元年度)	実績値 (令和5年度末)	令和7年度末 目標値に対する到達度	目標値 (令和7年度)
胃がん 女性46.3% 男性54.1% 肺がん 女性48.7% 男性53.9% 大腸がん 女性42.7% 男性47.6% 乳がん 女性51.9% 子宮頸がん 女性41.8% (R元年)	胃がん 女性48.2% 男性51.6% 肺がん 女性50.1% 男性54.6% 大腸がん 女性44.2% 男性48.5% 乳がん 女性55.0% 子宮頸がん 女性47.5% (R4年)	◎ (進展)	増加を目指します

意見

- 受診率の男女差について分析したうえで、男女差が生じないような施策を検討し、受診率の増加に努めていただきたい。
- 受診率が高い他県の取組事例などを参考にしたらよいのではないかな。
- 目標値は数値目標とした方がよい。
- 指標の目的や男女共同参画との関係が曖昧であり、指標の見直しが必要。

【指標No. 25】 災害対策コーディネーター登録者数

【関連事業】 事業No. 211 災害対策コーディネーターの活動支援

計画策定時値 (令和元年度)	実績値 (令和5年度末)	令和7年度末 目標値に対する到達度	目標値 (令和7年度)
1,445人	1,850人	◎ (進展)	増加を目指します

意見

- 登録数の男女差について分析し、男女差を解消する施策を検討していただきたい。
- 女性を一定の割合で選任することを義務付けるなどの施策もあるとのことだが、災害時、特に避難所における女性の権利侵害は大変大きな問題であることから、そのような義務付けを積極的に行うなどして、女性がリーダーとして災害時に活動できるような施策を講じていただきたい。
- 具体的に、地域の中で女性の災害コーディネーターがどのような活動をしているのか、周知することで、女性の活躍を促す一助になるのではないかな。
- 育成だけでなく、いざという時のためにも、その後の継続した活動支援が必要。
- 目標値は数値目標とした方がよい。

<<全体についての主な意見>>

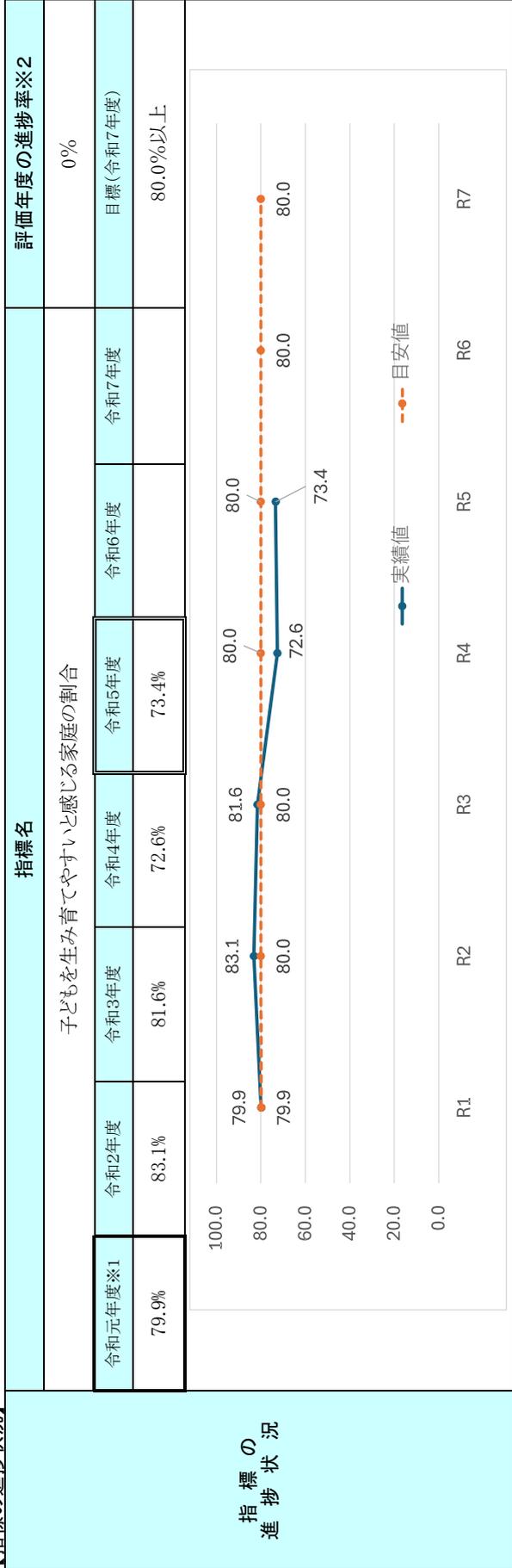
- 男女共同参画の推進度を図る指標であるという観点が薄く、計画の指標としては見直しが必要と思われるものが散見されるため、次期計画においては十分に精査していただきたい。
- 各指標に係るデータについては、男女別で比較できるものは可能な範囲で提示していただきたい。
- 男女間で優位性が認められるデータに関しては、その要因をさらに分析して今後の取組に活かしていただきたい。

第5次千葉県男女共同参画計画

様式(指標評価シート)

指標名	子どもを生き育てやすいと感じる家庭の割合			計画策定時(令和元年度)	79.9%	目標(令和7年度)	80.0%以上	指標No.	7
基本目標	基本目標 I あらゆる分野で男女がともに活躍できる環境づくり			基本的な課題	基本的な課題2 ライフステージに応じた男女共同参画の促進				
施策の方向	① 子育て・介護への支援			重点的取組	施策1 地域における子育て支援の体制の整備				
関係事業	事業名			該当	令和5年度2月補正後予算額(千円)				
	1 保育所等施設整備の助成				78,000				
	2 認定こども園施設整備の助成				9,106				
	3 放課後児童クラブへの助成				2,873,000				
	4 病児保育事業への助成				656,000				
施策計				3,616,106				608,273	
				3,292,099					

【指標の進捗状況】



※1 太線枠で囲んだ年度の数値は、目標設定時の現状値。二重線枠で囲んだ年度の数値は、評価年度の実績値。

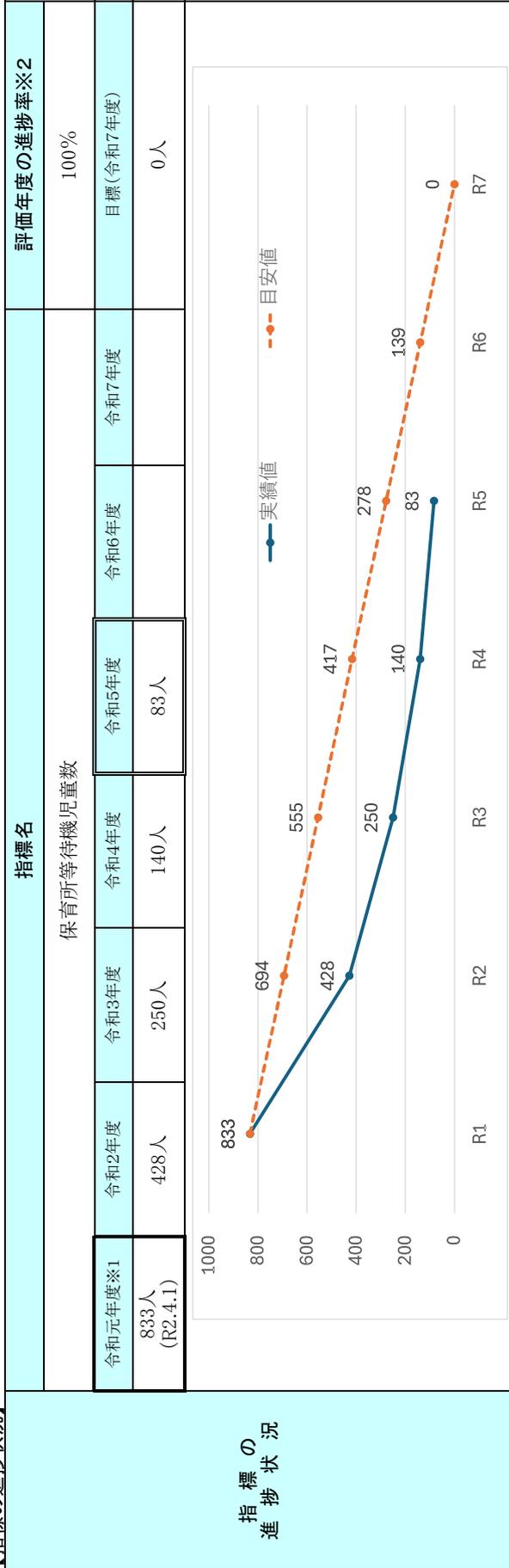
※2 評価年度の実績値－目標設定時の現状値 ÷ (評価年度の目安値－目標設定時の現状値) × 100 ※3 グラフ上の数値は端数処理により表記。

第5次千葉県男女共同参画計画

様式(指標評価シート)

指標名	保育所等待機児童数		計画策定時(令和元年度)	833人 (R2.4.1)	目標(令和7年度)	0人	指標No.	8
基本目標	基本目標 I あらゆる分野で男女がともに活躍できる環境づくり		基本的な課題	基本的な課題2 ライフステージに応じた男女共同参画の促進				
施策の方向	① 子育て・介護への支援		重点的取組	施策1 地域における子育て支援の体制の整備				
関係事業	事業名		該当	令和5年度決算額(千円)				
	1	保育所等施設整備の助成		78,000				
	2	認定こども園施設整備の助成		9,106				
	3	放課後児童クラブへの助成		2,873,000				
	4	病児保育事業への助成		656,000				
		施策計		3,616,106				

【指標の進捗状況】



※1 太線枠で囲んだ年度の数値は、目標設定時の現状値。二重線枠で囲んだ年度の数値は、評価年度の実績値。

※2 評価年度の実績値 - 目標設定時の現状値 ÷ (評価年度の目安値 - 目標設定時の現状値) × 100 ※3 グラフ上の数値は端数処理により表記。

第5次千葉県男女共同参画計画

様式(事業評価シート)

		事業No.	42
事業名	保育所等施設整備の助成		健康福祉部子育て支援課
基本目標	基本目標 I あらゆる分野で男女がともに活躍できる環境づくり	基本的な課題	基本的な課題2 ライフステージに応じた男女共同参画の促進
施策の方向	施策の方向① 子育て・介護への支援	重点的取組	該当
施策	施策1 地域における子育て支援の体制の整備	関係指標	子どもを生まみ育てやすいと感じる家庭の割合 保育所等待機児童数
年度	令和5年度		
2月補正後予算額(千円)	78,000		
決算額(千円)	57,775		

事業の概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> 県内の共働き世帯が増加傾向にある中、県内の待機児童数の解消を目指して、保育所を整備する事業者に対して、国の交付金の他に県独自の整備促進費を上乗せ補助することにより、県内の保育所整備を促進します。
主な実施事項と成果及び指標への貢献 (及び予期せぬ外的要因があった際にはその対応事項、指標への影響(※))	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度は、保育所を整備する4か所に対し、助成を行いました。その結果、528人分の定員が増加となりました。 県内の保育所施設数及び児童定員数が増えたことにより、待機児童数の減少の一因にもなり、指標「子どもを生まみ育てやすいと感じる家庭の割合」にも一定程度寄与できたと考えます。 <参考> 令和3年度:10か所に対し助成(610人分の定員が増加) 令和4年度:7か所に対し助成(588人分の定員が増加)
取組推進に当たった問題点や問題点を踏まえた課題等 (及び予期せぬ外的要因があった際にはその対応に当たった問題点を踏まえた課題等(※))	<ul style="list-style-type: none"> 国の交付金などに県単独の上乗せを行い、平成27年度から令和4年度までの8か年で整備された施設数・定員の増加数は、980施設、37,549人となりますが、それを上回る保育需要の伸びがあり、依然として待機児童数が多い状態です。(令和5年4月1日現在全国ワースト8位) 今後も保育ニーズの増加が見込まれており、保育所等の整備促進により定員の増加を図ることが必要です。
課題を踏まえた具体的な取組 (及び予期せぬ外的要因があった際にはその対応に当たった課題を踏まえた具体的な取組(※))	<ul style="list-style-type: none"> 今後の保育ニーズの増加に対応するため、引き続き、保育所等を整備する事業者に対し県独自の上乗せ補助を実施します。

(※) 新型コロナウイルス感染症や震災等の予期せぬ外的要因により、通常の事業実施が難しくかった場合は、その対応事項・指標への影響・対応に当たった問題点を踏まえた課題等・課題を踏まえた具体的な取組も記載する。
(注) 「関係指標」及び「指標」については、指標に紐づいた関係事業のみが記載する。

第5次千葉県男女共同参画計画

様式(事業評価シート)

		事業No.	43
事業名	認定子ども園施設整備の助成	担当課	健康福祉部子育て支援課
基本目標	基本目標Ⅰ あらゆる分野で男女がともに活躍できる環境づくり	基本的な課題	基本的な課題2 ライフステージに応じた男女共同参画の促進
施策の方向	施策の方向① 子育て・介護への支援	重点的取組	該当
施策	施策1 地域における子育て支援の体制の整備	関係指標	子どもを生まみ育てやすいと感じる家庭の割合 保育所等待機児童数
年度	令和5年度		
2月補正後予算額(千円)	9,106		
決算額(千円)	9,106		

事業の概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを安心して育てることが出来る体制の整備を図るため、認定子ども園の施設整備に係る経費の一部を助成します。
主な実施事項と成果及び指標への貢献 (及び予期せぬ外的要因があった際にはその対応事項、指標への影響(※))	<ul style="list-style-type: none"> 県内の認定子ども園は、令和5年4月1日現在の254施設から令和6年4月1日現在の273施設に増加しました。 県内の認定子ども園が増えたことにより、待機児童数の減少や多様化する子育て支援ニーズの対応に繋がりが、指標「子どもを生まみ育てやすいと感じる家庭の割合」にも一定程度寄与できたと考えます。 <p><参考> 令和3年4月1日:216施設 令和4年4月1日:236施設</p>
取組推進に当たった問題点や問題点を踏まえた課題等 (及び予期せぬ外的要因があった際にはその対応に当たった問題点を踏まえた課題等(※))	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援サービスの需要が多様化する中で、認定子ども園の整備については、依然として県内需要が高いことから、引き続き、認定子ども園の施設整備に対して助成する必要があります。
課題を踏まえた具体的な取組 (及び予期せぬ外的要因があった際にはその対応に当たった課題を踏まえた具体的な取組(※))	<ul style="list-style-type: none"> 依然として県内需要が高い認定子ども園の整備を促進するため、引き続き、認定子ども園の整備に対し助成を行います。

(※) 新型コロナウイルス感染症や震災等の予期せぬ外的要因により、通常の事業実施が難しくなった場合、その対応事項・指標への影響・対応に当たった問題点を踏まえた課題等・課題を踏まえた具体的な取組も記載する。
(注) 「関係指標」及び「指標への貢献」については、指標に紐づいた関係事業のみが記載する。

第5次千葉県男女共同参画計画

様式(事業評価シート)

		事業No.	44
事業名	放課後児童クラブへの助成		健康福祉部子育て支援課
担当課	健康福祉部子育て支援課		
基本目標	基本目標 I あらゆる分野で男女がともに活躍できる環境づくり	基本的な課題	基本的な課題2 ライフステージに応じた男女共同参画の促進
施策の方向	施策の方向① 子育て・介護への支援	重点的取組	該当
施策	施策1 地域における子育て支援の体制の整備	関係指標	子どもを生き育てやすいと感じる家庭の割合 保育所等待機児童数
年度	令和5年度		
2月補正後予算額(千円)	2,887,562		
決算額(千円)	2,616,945		

事業の概要・目的	<p>保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に小学校の余剰教室、児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業で、その運営費に対し助成します。</p>
主な実施事項と成果及び指標への貢献 (及び予期せぬ外的要因があった際にはその対応事項、指標への影響(※))	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度は、放課後児童健全育成事業1,705か所(54市町村)に対し、助成を行いました。 <参考> 令和3年度:放課後児童健全育成事業1,599か所(54市町村) 令和4年度:放課後児童健全育成事業1,626か所(54市町村)
取組推進に当たった問題点や問題点を踏まえた課題等 (及び予期せぬ外的要因があった際にはその対応に当たった問題点を踏まえた課題等(※))	<ul style="list-style-type: none"> 放課後児童クラブに対する需要が拡大し、年々補助対象施設が増加しているため、引き続き放課後児童クラブの運営に必要な経費に対し補助を行っていきます。
課題を踏まえた具体的な取組 (及び予期せぬ外的要因があった際にはその対応に当たった課題を踏まえた具体的な取組(※))	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き放課後児童クラブの運営に必要な経費に対し補助を行っていきます。

(※) 新型コロナウイルス感染症や震災等の予期せぬ外的要因により、通常の事業実施が難しくなった場合は、その対応事項・指標への影響・対応に当たった問題点を踏まえた課題等・課題を踏まえた具体的な取組も記載する。
(注) 「関係指標」及び「指標」については、指標に紐づいた関係事業のみが記載する。

第5次千葉県男女共同参画計画

様式(事業評価シート)

		健康福祉部子育て支援課		事業No.	45
事業名	病児保育事業への助成		担当課	健康福祉部子育て支援課	
基本目標	基本目標 I	あらゆる分野で男女がともに活躍できる環境づくり	基本的な課題	基本的な課題2 ライフステージに応じた男女共同参画の促進	
施策の方向	施策の方向① 子育て・介護への支援		重点的取組	該当	
施策	施策1 地域における子育て支援の体制の整備		関係指標	子どもを生きやすいと感じる家庭の割合 保育所等待機児童数	
年度	令和5年度				
2月補正後予算額(千円)	662,951				
決算額(千円)	608,273				

事業の概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化する保育ニーズに対応し、地域における多様な子育て支援サービスを提供するため、市町村が実施する病児保育事業の運営費に対して助成します。
主な実施事項と成果及び指標への貢献 (及び予期せぬ外的要因があった際にはその対応事項・指標への影響※)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度は、病児保育事業331か所(40市町)に対し、助成を行いました。 ・補助事業の基本単価が引き上げられ、より安定的な事業運営が可能となったことが病児保育事業が増加した一因と考えます。 ・県内の病児保育事業が増えたことにより、指標「子どもを生きやすいと感じる家庭の割合」にも一定程度寄与できたと考えます。 <p><参考> 令和3年度：病児保育事業307か所(39市町) 令和4年度：病児保育事業323か所(39市町)</p>
取組推進に当たった問題点や問題点を踏まえた課題等 (及び予期せぬ外的要因があった際にはその対応に当たった問題点を踏まえた課題等※)	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な時に病児保育の予約が取れるよう引き続き病児保育事業を増加させていく必要があります。
課題を踏まえた具体的な取組 (及び予期せぬ外的要因があった際にはその対応に当たった問題点を踏まえた具体的な取組※)	<p>病児保育事業の実施箇所の増加に向けて、市町村に対し、補助事業の基本単価を引き上げられ、より安定的な事業運営が可能となったことを周知するなど、事業の活用を促します。</p>

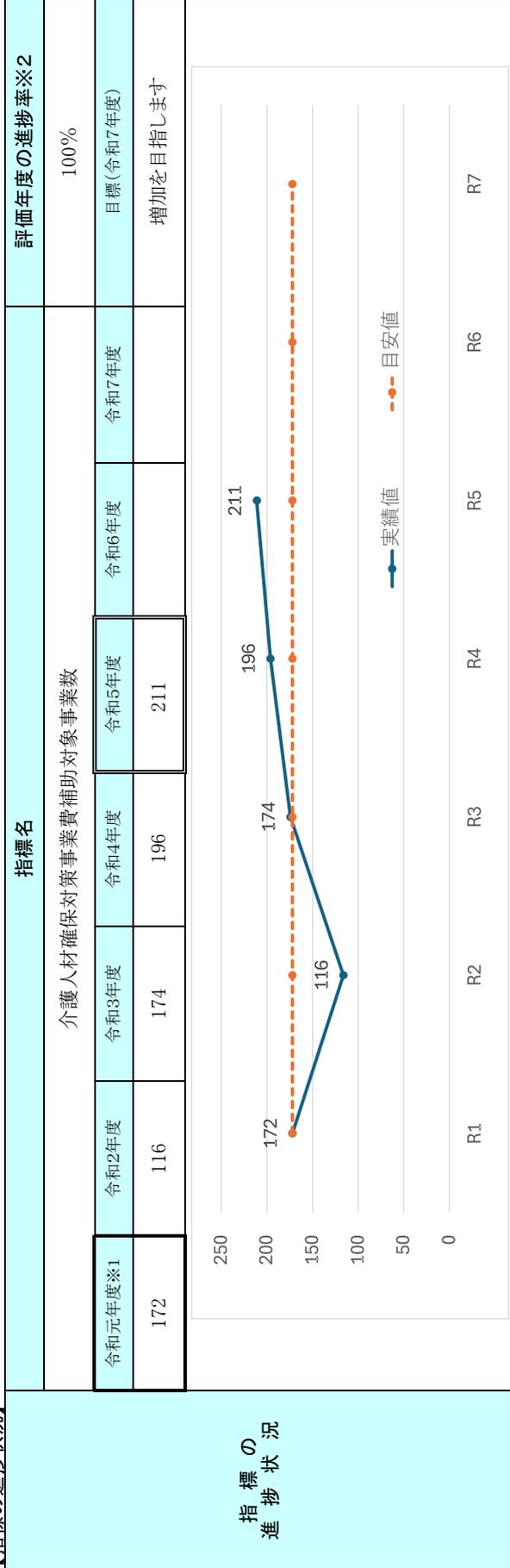
(※)新型コロナウイルス感染症や震災等の予期せぬ外的要因により、通常の事業実施が難しかった場合は、その対応事項・指標への影響・対応に当たった問題点を踏まえた課題等・課題を踏まえた具体的な取組も記載する。
(注)「関係指標」及び「指標」については、指標に紐づいた関係事業のみが記載する。

第5次千葉県男女共同参画計画

様式(指標評価シート)

指標名	介護人材確保対策事業費補助対象事業数			計画策定時(令和元年度)	172	目標(令和7年度)	増加を指します	指標No.	10
基本目標	基本目標 I あらゆる分野で男女がともに活躍できる環境づくり			基本的な課題	基本的な課題2 ライフステージに応じた男女共同参画の促進				
施策の方向	① 子育て・介護への支援			重点的取組	施策6 地域における介護支援の体制の整備				
関係事業	事業名			該当	令和5年度2月補正後予算額(千円) 令和5年度決算額(千円)				
	1 福祉・介護人材の確保と定着促進				354,696 282,388				
	施策計				354,696 282,388				

【指標の進捗状況】



第5次千葉県男女共同参画計画

様式(事業評価シート)

		事業No. 61	
事業名	福祉・介護人材の確保と定着促進	担当課	健康福祉部健康福祉指導課
基本目標	基本目標 I あらゆる分野で男女がともに活躍できる環境づくり	基本的な課題	基本的な課題2 ライフステージに応じた男女共同参画の促進
施策の方向	施策の方向① 子育て・介護への支援	重点的取組	該当
施策	施策6 地域における介護支援の体制の整備	関係指標	介護人材確保対策事業費補助対象事業数
年度	令和5年度		
2月補正後予算額(千円)	354,696		
決算額(千円)	282,388		

事業の概要・目的	<p>・高齢化の急速な進展に伴い喫緊の課題となっている介護人材の確保・定着を図るため、介護分野への多様な人材の就業促進や介護職への理解促進、介護職員のキャリアアップ支援、働きやすい職場環境の整備など総合的な取組を実施しています。</p>
主な実施事項と成果及び指標への貢献 (及び予期せぬ外的要因があった際にはその対応事項、指標への影響(※))	<p>・若手介護職員を「介護の未来案内人」として委嘱し、学校訪問やSNSを通して介護職の魅力ややりがい伝える活動や、介護職員の資質向上を図るための研修等を実施する市町村や事業者等の支援、介護事業所内における保育施設との運営経費に対する助成など、介護人材の確保・定着を図る様々な取組を実施しました。</p> <p>・市町村や事業者、関係団体等と連携・協働を図りながら、介護人材確保・定着に向けて取組を進めた結果、市町村や事業者等への支援件数は、前年度より8%増加(R4:196件→R5:211件)しました。</p>
取組推進に当たった問題点や問題点を踏まえた課題等 (及び予期せぬ外的要因があった際にはその対応に当たった課題を踏まえた課題等(※))	<p>・介護職員数は年々着実に増加している一方で、令和4年度の介護サービスの職業の有効求人倍率は3.65倍と、全職業の1.00倍を大きく上回っており、介護人材不足は依然として深刻な状況となっています。</p> <p>・この要因として、高齢化の急速な進展に伴う介護ニーズの増加に対して、介護職員の増加が追いついていないこと等があり、生産年齢人口の減少に伴い、労働力の確保が今後一層困難になることが予測される中で、介護サービスを支える人材をいかにして確保していくかが課題となっています。</p>
課題を踏まえた具体的な取組 (及び予期せぬ外的要因があった際にはその対応に当たった課題を踏まえた具体的な取組(※))	<p>・将来にわたって必要とされる介護サービスが安定的に提供されるよう、これを支える介護人材の確保に向けて、引き続き、市町村や事業者、関係団体等と連携・協働を図りながら、介護人材の確保・定着に向けた様々な取組を実施していくとともに、令和4年度に開始した介護職員の負担軽減や人的資源の最適化等、介護現場の業務改善を図る取組についても引き続き実施していきます。</p>

(※) 新型コロナウイルス感染症や震災等の予期せぬ外的要因により、通常の事業実施が難しくかった場合は、その対応事項・指標への影響・対応に当たった問題点を踏まえた課題等・課題を踏まえた具体的な取組も記載する。
(注) 「関係指標」及び「指標」については、指標に紐づいた関係事業のみが記載する。

第5次千葉県男女共同参画計画

様式(指標評価シート)

指標名	ちばバリアフリーマップ掲載施設数			計画策定時(令和元年度)	1,935施設	目標(令和7年度)	2,230施設 (目標数値:年間50施設の増)	指標No.	18
基本目標	基本目標Ⅱ 安全・安心に暮らせる社会づくり			基本的な課題	誰もが安心して暮らせる環境の整備				
施策の方向	③ 外国人・障害者・高齢者等が安心して暮らせる環境づくり			重点的取組	施策6 バリアフリーの促進				
関係事業	事業名			令和5年度2月補正後予算額(千円)	令和5年度決算額(千円)				
	1 ちばバリアフリーマップによる県内施設のバリアフリー情報の紹介				2,825		2,768		
	施策計				2,825		2,768		

【指標の進捗状況】

指標名		ちばバリアフリーマップ掲載施設数							評価年度の進捗率※2																				
令和元年度※1	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標(令和7年度)	81.0%																					
1,935施設	1,987施設	2,016施設	2,042施設	2,097施設			2,230施設 (目標数値:年間50施設の増)																						
<table border="1"> <caption>指標の進捗状況 (実績値と目安値)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目安値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1987</td><td>1,935</td><td>1,987</td></tr> <tr><td>1990</td><td>1,935</td><td>1,987</td></tr> <tr><td>2030</td><td>2,030</td><td>2,080</td></tr> <tr><td>2097</td><td>2,097</td><td>2,130</td></tr> <tr><td>2180</td><td></td><td>2,180</td></tr> <tr><td>2230</td><td></td><td>2,230</td></tr> </tbody> </table>									年度	実績値	目安値	1987	1,935	1,987	1990	1,935	1,987	2030	2,030	2,080	2097	2,097	2,130	2180		2,180	2230		2,230
年度	実績値	目安値																											
1987	1,935	1,987																											
1990	1,935	1,987																											
2030	2,030	2,080																											
2097	2,097	2,130																											
2180		2,180																											
2230		2,230																											

※1 太線枠で囲んだ年度の数は、目標設定時の現状値。二重線枠で囲んだ年度の数は、評価年度の実績値。

※2 評価年度の進捗率＝(評価年度の実績値－目標設定時の現状値)÷(評価年度の目安値－目標設定時の現状値)×100 ※3 グラフ上の数値は端数処理により表記。

第5次千葉県男女共同参画計画

様式(事業評価シート)

		事業No.	158
事業名	ちばバリアフリーマップによる県内施設のバリアフリー情報の紹介		健康福祉部健康福祉指導課
基本目標	基本目標Ⅱ 安全・安心に暮らせる社会づくり	基本的な課題	基本的な課題5 誰もが安心して暮らせる環境の整備
施策の方向	施策の方向③ 外国人・障害者・高齢者等が安心して暮らせる環境づくり	重点的取組	—
施策	施策6 バリアフリーの促進	関係指標	ちばバリアフリーマップ掲載施設数
年度	令和5年度		
2月補正後予算額(千円)	2,825		
決算額(千円)	2,768		

事業の概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障害者等の外出時の不安が解消され、様々な活動に参加することができるよう、「ちばバリアフリーマップ」の施設情報の追加・更新を行い、バリアフリー情報の充実を図ります。 ・公共施設や商業施設等のバリアフリー情報を紹介する「ちばバリアフリーマップ」に、昨年度に比べ55箇所増加し、計2,097施設の情報を掲載できました。 ・令和5年度では65件の新規施設の掲載を行うことができた一方、既存の掲載施設の改廃等により、10件の掲載情報を削除したところであり、今後も一定数の掲載情報の削除が見込まれます。 ・ちばバリアフリーマップの充実を着実に進めていくためには、既存の掲載施設の改廃等に伴う掲載情報の削除を見込んだ上で、新規調査を実施する必要があります。 ・年間50施設の掲載施設数の増加を目指し、新規調査を計画的に進めます。
主な実施事項と成果及び指標への貢献 (及び予期せぬ外的要因があった際にはその対応事項、指標への影響(※))	
取組推進に当たった問題点や問題点を踏まえた課題等 (及び予期せぬ外的要因があった際にはその対応に当たった問題点を踏まえた課題等(※))	
課題を踏まえた具体的な取組 (及び予期せぬ外的要因があった際にはその対応に当たった課題を踏まえた具体的な取組(※))	

(※) 新型コロナウイルス感染症や震災等の予期せぬ外的要因により、通常の事業実施が難しくなった場合は、その対応事項・指標への影響・対応に当たった問題点を踏まえた課題等・課題を踏まえた具体的な取組も記載する。
(注) 「関係指標」及び「指標」については、指標に紐づいた関係事業のみが記載する。

第5次千葉県男女共同参画計画

様式(指標評価シート)

指標名	主要駅のエレベーター等の設置による段差解消割合			計画策定時(令和元年度)	95.9%	目標(令和7年度)	100%	指標No.	19
基本目標	基本目標Ⅱ 安全・安心に暮らせる社会づくり			基本的な課題	基本的な課題5 誰もが安心して暮らせる環境の整備				
施策の方向	③ 外国人・障害者・高齢者等が安心して暮らせる環境づくり			重点的取組	施策	施策6 バリアフリーの促進			
関係事業	事業名			令和5年度2月補正後予算額(千円)	令和5年度決算額(千円)				
	1 鉄道駅バリアフリー設備の整備支援				181,926	132,520			
	施策計				181,926	132,520			

【指標の進捗状況】

指標名	主要駅のエレベーター等の設置による段差解消割合							100%
令和元年度※1	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標(令和7年度)	
95.9%	96.8%	99.5%	99.5%	99.1%			100%	

指標の進捗状況	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実績値	95.9	96.6	97.3	98.0	98.6	99.1	99.3
目安値	95.9	96.6	97.3	98.0	98.6	99.3	100.0

※1 太線枠で囲んだ年度の数は、目標設定時の現状値。二重線枠で囲んだ年度の数は、評価年度の実績値。

※2 評価年度の実績率＝(評価年度の実績値－目標設定時の現状値)÷(評価年度の実績値)×100 ※3 グラフ上の数値は端数処理により表記。

第5次千葉県男女共同参画計画

様式(事業評価シート)

		事業No.	159
事業名	鉄道駅バリアフリー設備の整備支援		総合企画部交通計画課
基本目標	基本目標Ⅱ 安全・安心に暮らせる社会づくり	基本的な課題	基本的な課題5 誰もが安心して暮らせる環境の整備
施策の方向	施策の方向③ 外国人・障害者・高齢者等が安心して暮らせる環境づくり	重点的取組	—
施策	施策6 バリアフリーの促進	関係指標	主要駅のエレベーター等の設置による段差解消割合
年度	令和5年度		
2月補正後予算額(千円)	181,926		
決算額(千円)	132,520		

事業の概要・目的	<p>・高齢者や障害者等をはじめとして全ての県民が、安心して安全に生活し、自らの意思で自由に行動し、平等に社会参加できるまちづくりを推進するため、市町村が行う鉄道駅バリアフリー設備整備事業に要する経費に対して補助を行います。</p>
主な実施事項と成果及び指標への貢献 (及び予期せぬ外的要因があった際にはその対応事項、指標への影響(※))	<ul style="list-style-type: none"> ・2駅(基(2市))のエレベーター整備について補助を行いました。 ・なお、新型コロナウイルス感染症の影響で減少していた鉄道利用者数が回復したことから、設置対象の駅が昨年度から3駅増加し、未設置駅が1駅増加したため、設置率について昨年度の99.5%から今年度は99.1%となっております。
取組推進に当たった問題点や問題点を踏まえた課題等 (及び予期せぬ外的要因があった際にはその対応に当たった課題を踏まえた課題等(※))	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー設備の整備については、多額の費用が必要となりますが、鉄道事業者、国、自治体それぞれの費用負担が課題となっております。 ・特に、利用者数が少ない駅のエレベーター整備については、鉄道事業者の経営状況により事業者負担が難しく、地元市町村に多くの負担が求められることにより、整備が進まないケースもあります。
課題を踏まえた具体的取組 (及び予期せぬ外的要因があった際にはその対応に当たった課題を踏まえた具体的な取組(※))	<ul style="list-style-type: none"> ・県では、補助要望のあった駅について、利用者数のみならず、利用状況や駅周辺に社会福祉施設が設置されているなど駅ごとの状況を確認した上で、補助の必要性を判断しています。 ・また、国では令和3年12月に、都市部においてバリアフリー設備整備費用を鉄道運賃に上乘せして徴収し、バリアフリー化を進める新たな料金制度が創設され、併せて、地方部において支援措置を重点化する方針が示されました。 ・県の補助制度について、市町村がバリアフリー基本構想に位置付け、国庫補助の重点化措置が適用される駅に対しては、補助対象経費の上限を市町村負担の内の3分の1から2分の1に引き上げる等の見直しを令和4年度末に行いました。

(※) 新型コロナウイルス感染症や震災等の予期せぬ外的要因により、通常の事業実施が難しくなった場合は、その対応事項・指標への影響・対応に当たった問題点を踏まえた課題等・課題を踏まえた具体的な取組も記載する。
(注) 「関係指標」及び「指標」については、指標に紐づいた関係事業のみが記載する。

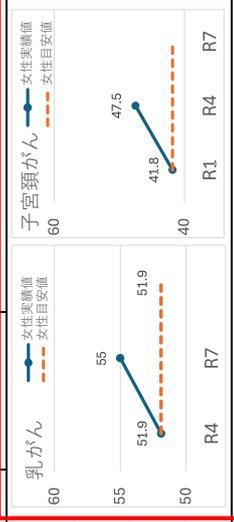
第5次千葉県男女共同参画計画

様式(指標評価シート)

指標No.	24
指標名	がん検診の受診率
計画策定時(令和元年度)	胃がん 女性46.3% 男性54.1% 肺がん 女性48.7% 男性53.9% 大腸がん 女性42.7% 男性47.6% 乳がん 女性51.9% 子宮頸がん 女性41.8% (R元年)
目標(令和7年度)	増加を指します
基本目標	基本目標Ⅱ 安全・安心に暮らせる社会づくり
基本課題	基本的な課題6 生涯を通じた健康づくりの促進
重点的取組	施策4 総合的ながん対策の推進
事業名	令和5年度2月補正後予算額(千円) 253,029
関係事業	1 総合的ながん対策の推進 253,029 241,743 241,743

【指標の進捗状況】

指標名	がん検診の受診率						
指標の進捗状況	令和元年度※1	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
胃がん 女性46.3% 男性54.1% 肺がん 女性48.7% 男性53.9% 大腸がん 女性42.7% 男性47.6% 乳がん 女性51.9% 子宮頸がん 女性41.8% (R元年)	54.1 46.3 51.6 48.2	54.6 48.2	53.9 48.7	54.6 50.1	51.6 44.2	55 51.9	55 47.5
3年毎の公表	—						
胃がん 女性48.2% 男性51.6% 肺がん 女性50.1% 男性54.6% 大腸がん 女性44.2% 男性46.5% 乳がん 女性55.0% 子宮頸がん 女性47.5% (R4年)	—						
評価年度の進捗率※2	100%						
目標(令和7年度)	増加を指します						



※1 太線で囲んだ年度の数値は、目標設定時の現状値。二重線で囲んだ年度の数値は、評価年度の実績値。
 ※2 評価年度の進捗率 = (評価年度の実績値 - 目標設定時の現状値) ÷ (評価年度の目安値 - 目標設定時の現状値) × 100 ※3 グラフ上の数値は端数処理により表記。

第5次千葉県男女共同参画計画

様式(事業評価シート)

		事業No.	175
事業名	総合的ながん対策の推進		健康福祉部健康づくり支援課
基本目標	基本目標Ⅱ 安全・安心に暮らせる社会づくり	基本的な課題	基本的な課題6 生涯を通じた健康づくりの促進
施策の方向	施策の方向① 生涯を通じた男女の健康支援の推進	重点的取組	—
施策	施策4 総合的ながん対策の推進	関係指標	がん検診の受診率
年度	令和5年度		
2月補正後予算額(千円)	253,029		
決算額(千円)	241,743		

事業の概要・目的	がんから県民の生命と健康を守るため、県民と医療・福祉関係者、行政が協力し、総合的・計画的にがん対策を推進します。
主な実施事項と成果及び指標への貢献 (及び予期せぬ外的要因があった際にはその対応事項、指標への影響(※))	県民向けに「がん予防展・がん講演会」や乳がん検診の受診を呼びかける「ピンクリボンキャンペーン」を開催するなど、普及啓発活動を実施し、がん検診の受診率向上を図りました。 また、がん検診を実施する市町村や検診機関等の担当者に対して、受診率の向上も含めたがん検診の質の向上を図るための研修会を開催しました。
取組推進に当たった問題点や問題点を踏まえた課題等 (及び予期せぬ外的要因があった際にはその対応に当たった問題点を踏まえた課題等(※))	5つのがん検診(胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん)の男女別の受診率の多くは、令和元年と比べて令和4年は上昇しました。しかし、近年の新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、検診の中止や延期、受診控え等が発生した時期があったことから、更なる受診率の回復及び向上が課題となっています。
課題を踏まえた具体的な取組 (及び予期せぬ外的要因があった際にはその対応に当たった課題を踏まえた具体的な取組(※))	「がん予防展・がん講演会」や「ピンクリボンキャンペーン」を実施することにより、他の事業と併せて受診率向上に向けた更なる普及啓発等を行っていきます。

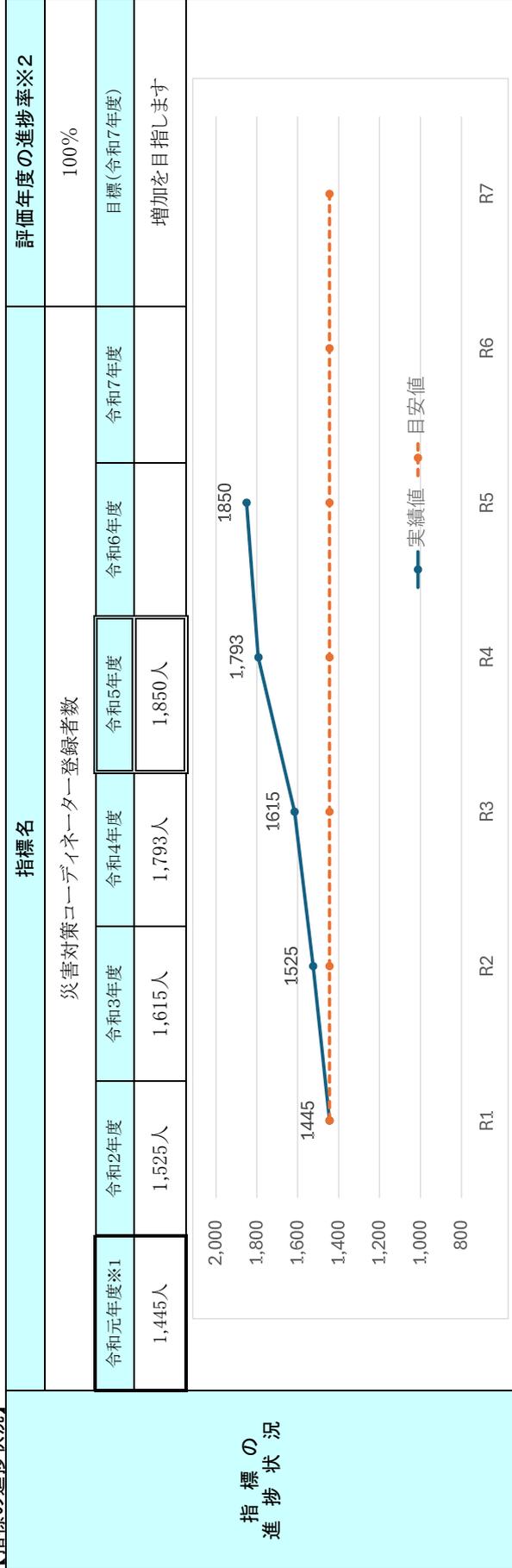
(※) 新型コロナウイルス感染症や震災等の予期せぬ外的要因により、通常の事業実施が難しくかった場合は、その対応事項・指標への影響・対応に当たった問題点を踏まえた課題等・課題を踏まえた具体的な取組も記載する。
(注) 「関係指標」及び「指標への貢献」については、指標に紐づいた関係事業のみが記載する。

第5次千葉県男女共同参画計画

様式(指標評価シート)

指標名	災害対策コーディネーター登録者数		計画策定時(令和元年度)	1,445人	目標(令和7年度)	増加を指します	指標No.	25
基本目標	基本目標Ⅱ 安全・安心に暮らせる社会づくり		基本的な課題	基本的な課題7 防災・復興における男女共同参画の促進				
施策の方向	② 消防・防災活動における女性の活躍促進	重点的取組	—	施策	施策1 災害対策コーディネーターの活動支援			
関係事業	事業名		令和5年度2月補正後予算額(千円)	令和5年度決算額(千円)				
	1 災害対策コーディネーターの活動支援			0			0	
	施策計			0			0	

【指標の進捗状況】



※1 太線枠で囲んだ年度の現況値。二重線枠で囲んだ年度の数値は、評価年度の実績値。

※2 評価年度の実績値÷(評価年度の目安値-目標設定時の現況値)×100 ※3 グラフ上の数値は端数処理により表記。

第5次千葉県男女共同参画計画

様式(事業評価シート)

		事業No.	211
事業名	災害対策コーディネーターの活動支援		防災危機管理部危機管理政策課
基本目標	基本目標Ⅱ 安全・安心に暮らせる社会づくり	基本的な課題	基本的な課題7 防災・復興における男女共同参画の促進
施策の方向	施策の方向② 消防・防災活動における女性の活躍促進	重点的取組	—
施策	施策1 災害対策コーディネーターの活動支援	関係指標	災害対策コーディネーター登録者数
年度	令和5年度		
2月補正後予算額(千円)	0		
決算額(千円)	0		

事業の概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策コーディネーター登録者に対し、更なる知識や技能の習得を目的として、平成31年4月に開設した防災研修センターにおける自主防災組織向け研修の受講を推奨します。 ・令和5年度は、災害対策コーディネーターに対し自主防災組織向け研修の受講の推奨を推奨しました。
主な実施事項と成果及び指標への貢献 <small>(及び予期せぬ外的要因があった際にはその対応事項、指標への影響※)</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度は、災害対策コーディネーターに対し自主防災組織向け研修の受講の推奨を推奨しました。
取組推進に当たった問題点や課題を踏まえた課題等 <small>(及び予期せぬ外的要因があった際にはその対応に当たった問題点を踏まえた課題等※)</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策コーディネーターの更なる知識や技能の習得のため、防災研修センターにおける各種研修事業の更なる活用についても検討が必要です。
課題を踏まえた具体的な取組 <small>(及び予期せぬ外的要因があった際にはその対応に当たった課題を踏まえた具体的な取組※)</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・上記を踏まえ、講座のあり方について再検討を進めるとともに、防災研修センターで実施している研修講座の充実を図ります。

※) 新型コロナウイルス感染症や震災等の予期せぬ外的要因により、通常の事業実施が難しくなった場合は、その対応事項・指標への影響・対応に当たった問題点を踏まえた課題等・課題を踏まえた具体的な取組も記載する。
 (注) 「関係指標」及び「指標への貢献」については、指標に紐づいた関係事業のみが記載する。